

ウポポイ  
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK  
民族共生象徴空間

令和4年11月2日

## 釧路港のi-Constructionの取組紹介について

～ICT建設機械を用いた浚渫工事について報道機関対象現場説明会を開催～

釧路開発建設部では、釧路港の浚渫工事にてICT建設機械を用いることにより、生産性の向上を目指す取組i-Construction<sup>※1</sup>を実施しています。

つきましては、報道機関の皆様を対象に現場説明会を開催いたしますのでお知らせします。

### 記

- 1 開催日時 : 令和4年11月9日(水) 10:00～12:00
- 2 集合場所 : 釧路市西港3丁目(【別紙1】をご参照ください。)
- 3 対象 : 報道機関の皆様
- 4 説明内容 : ①【別紙1】「集合場所」で工事概要説明  
②【別紙1】「工事箇所」まで船で移動し、浚渫船の上でICT浚渫工について説明
- 5 申込方法 : 取材を希望される方は、【別紙2】により令和4年11月8日(火)12時までにお申し込み願います。

○海象条件により、施工が中止となる場合がございます。その際は前日(8日)の16時頃を目処にご連絡いたします。

○新型コロナウイルス対策として、マスク等の着用を徹底願います。

○冬季の現場見学となりますので、服装等にはご留意願います。(ヘルメットは各自でご用意願います。また、足下は滑りやすくなっておりますので、防寒長靴等滑りにくい靴の着用をお願いします。なお、ライフジャケットはこちらでご用意いたします。)

○集合場所への経路には一部未舗装路があるため、ご留意願います。

※1 : i-Construction とは、「ICTの全国的な活用」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指す取組です。

【港湾におけるi-Construction】[https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan\\_fr5\\_000061.html](https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr5_000061.html)

ICT浚渫工については、【別紙3】をご参照ください。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 釧路港湾事務所

第1工務課 第1工務課長 鈴木 孝信 代表電話 : 0154-51-4381

計画・保全課 計画・保全課長 富岡 直基

釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>





出典：国土地理院ホームページ

釧路港-14m泊地西側浚渫工事現場見学会 参加申込書

開催日

令和4年11月9日(水)10時00分～(2時間程度を予定)

参加希望者			緊急時連絡先電話番号等 (荒天時中止連絡先)
所属 (会社名)	役職	氏名	
			携帯
			E-mail

※個人情報につきましては、本現場見学会の名簿及び緊急連絡以外には使用いたしません。

送付先: 釧路開発建設部 釧路港湾事務所 第1工務課長 鈴木 孝信  
FAX: 0154-53-2159

事前の準備がありますので、11月8日(火)12時までに送付願います。

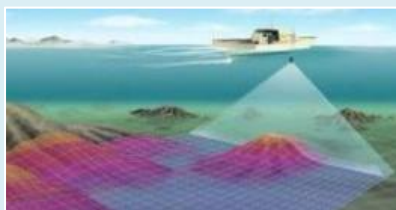
# 【ICT浚渫工】検討概要

## ■ 実施内容

### ① 3次元起工測量

- 施工前に「マルチビーム」を用いた水深測量(3次元起工測量)を行う。

【3次元測量】



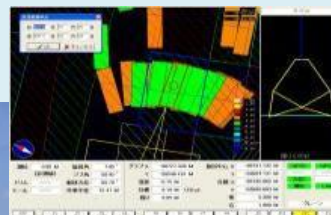
3次元測量により詳細な海底地形を把握

※ 効率的なノイズ処理手法

### ③ ICTを活用した施工

- ICTを活用して、水中施工箇所をリアルタイムで可視化し、施工を行う。

【施工箇所の可視化】

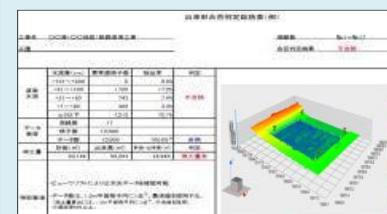


リアルタイムでの施工位置や出来形の可視化により施工管理を効率化

### ⑤ 3次元データを活用した検査

- 3次元測量データから帳票等を作成し、工事完成図書として納品する。
- 3次元データを活用した電子検査を行う。

【帳票の自動作成】



帳票自動作成により書類作成を効率化  
実測作業省略による検査効率化

【3次元電子検査】



発注者

測量

設計・  
施工計画

施工・出来形計測

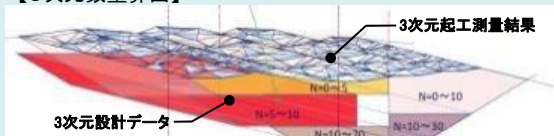
検査

維持管理

### ② 3次元データによる施工量算出

- 3次元起工測量結果と、設計図書より作成した3次元設計データを用いて、施工量を算出する。

【3次元数量算出】

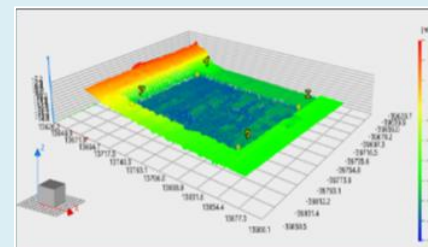


3次元起工測量結果と3次元設計データから正確な施工量(浚渫土量)を算出

### ④ 3次元出来形測量

- 浚渫工が完了した後、「マルチビーム」を用いた水深測量(出来形測量)を行い、出来形管理を行う。
- 出来形測量の取得データは、水路測量にも使用可能とする。

【3次元出来形測量】



3次元測量による出来形計測により、詳細な浚渫後の海底地形を把握、施工管理を効率化  
出来形測量と水路測量の一体化による時間・コストの削減

※ 効率的なノイズ処理手法 ※ 測量成果の統合

### ⑥ 点検等への活用

- 完成時の3次元データをもとに経年変化等の確認に活用。
- 埋没経過状況の把握。

## 工事概要

釧路港では、背後地に立地する製紙工場及び火力発電で利用される石炭や木質バイオマス、背後圏から国内外へ輸移出される金属くずを取り扱うため、大型船に対応した大水深岸壁及び航路の整備を進めています。

## 工事内容

工事名：釧路港-14m泊地西側浚渫工事

工事箇所：釧路市

工期：令和4年6月1日～令和4年12月16日

請負金額：476,190,000円

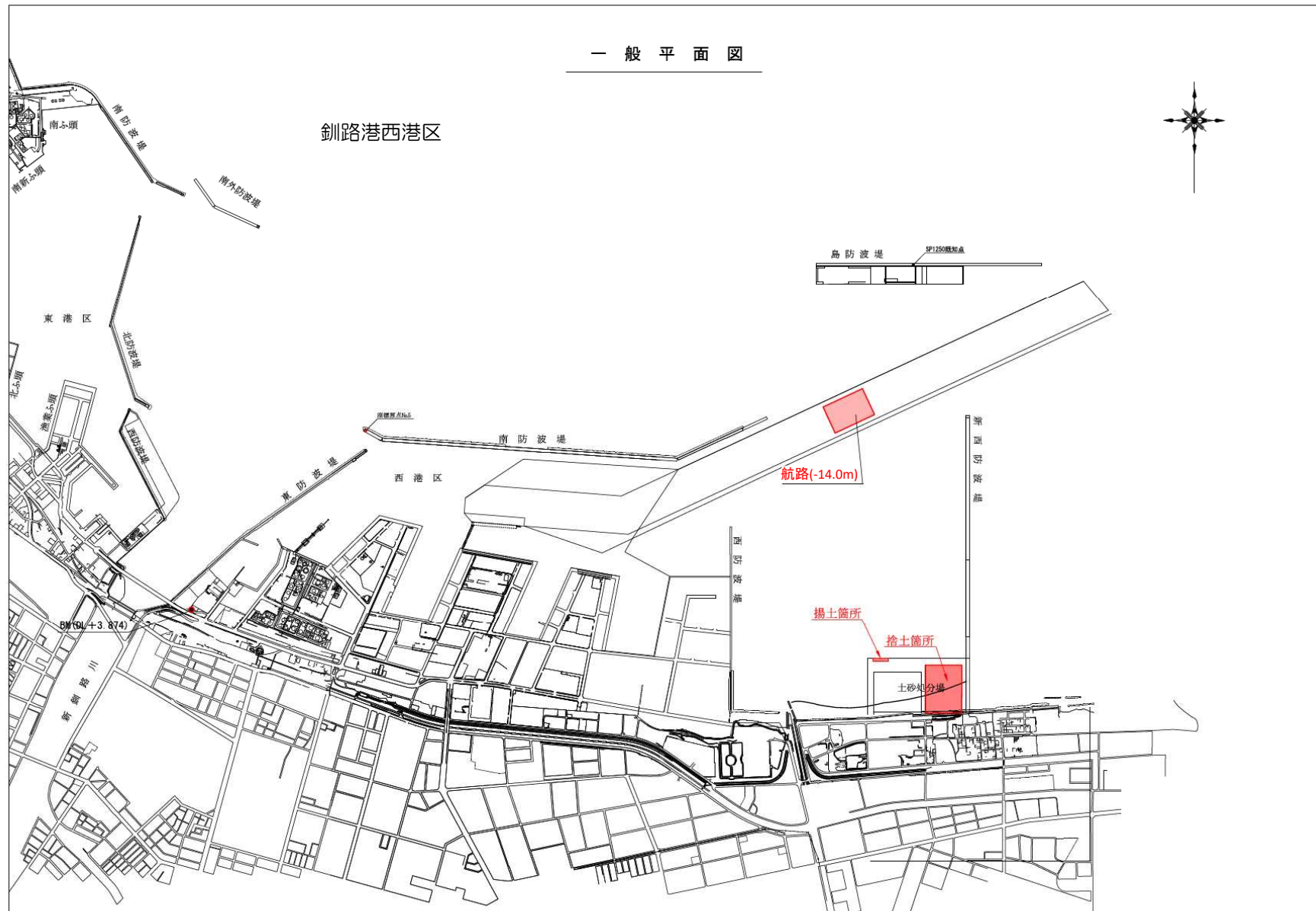
受注者：東洋・真壁経常建設共同企業体

工事内容：航路泊地（-14m）

- ・ グラブ浚渫  $V=76,686\text{m}^3$
- ・ 土砂運搬  $V=76,686\text{m}^3$



# 施工箇所・施工状況写真



# 【参考】 施工状況写真 (※過年度工事の写真)

当日は、①の状況を現場で説明します。

